

秋季大会の結果

● 南部地区1回戦 対浦和麗明高校

学校名	1	2	3	4	5	6	7	8	9	計
浦和麗明	0	0	1	0	0	0	1	3	2	7
市立浦和	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1

秋季大会の応援、ありがとうございました。

次の高野連主催の大会は、令和9年4月（春季大会）になります（先が長い・・・）。

引き続きよろしくお願い致します。

秋季大会を終えて

秋の大会を終え（次が春であることを考えると）、チーム全体を長い目で見る必要があると感じています（継続的に取り組む）。現チームで一番感じていること（不足していると感じていること）、それは「攻撃力」のなさです。「攻撃力」とは、ホームベースを踏む（＝得点）ためにどうするか・・・ということになります。

打者には大きく分けて（その状況に応じて）3つの役割があります。①出塁すること、②そのランナーを進めること、③進んだランナーをホームインさせること、この3つです。①には選球眼を良くする、②には正確なバントをするなど技術系のことも関係しますが、現代野球でより重視されていることは、力強い打球を打つことによって、①②を同時に満たす（＝2塁打や3塁打を打つ）、①②③を同時に満たす（＝ホームランを打つ）ことなのだと感じています（現に上記の試合、市高の長打は0、相手・浦和麗明高校の長打は5本でした）。

打球が飛んでいく感じがしない（体つきやスイング全体を見てと思われる）。試合後、厳しい指摘を受けました。今後の継続的な取り組みとはそのようなことを指しているのではないのでしょうか。変わった姿を見せたいと思います。

市立浦和高等学校野球部通信

発行所 鈴木 諭

アドバイスを受けて・・・

ある方から夏季休業前、こんなアドバイスを受けてました。50代って他人の話をよく聞くようにした方がいいよ～自分勝手になりやすいから・・・夏季休業中、よく聞くようにしました（したつもりです）。よく言われますが、口1・耳2、それは、自分が話す2倍他人の話を聞けということ・・・

野球以外で一番印象に残っている言葉はコレ。熊本で震災があり、その復旧にあたられている方、ボランティア等の活動をされている方の映像を目にしてこのようなことをおっしゃった方がいたのです。このような方々って「人としての偏差値」が高いと思いませんか？私は今後の人生で（残りの人生で）人としての偏差値を上げたいと考えています。皆さんも（野球を頑張りつつも）そんなことを考えてみたらどうでしょう・・・

野球関係の会話で印象に残っているのは、昨年夏、甲子園に出場した叡明高校・中村監督と練習試合をした際の会話でしょうか（私は中村監督と同年、中村さんが市高近くにグラウンドがある日本通運の元選手だった関係で仲が良い）。彼は（甲子園球場のことを）何もかもが素晴らしすぎる、残りの人生で絶対にもう一度あの場に立ちたいと熱く語ってくれました（私も立ちたい）。

我が家での会話でこの夏印象に残っているのはコレでしょうか。6匹飼っているネコがケンカをしてしまい・・・とこの通信で書かせていただきましたが、結局、この夏その関係が改善されることはありませんでした。今現在、1匹をゲージ内で隔離（他3匹との関係がダメです。他2匹は平和的です）、そんなネコちゃん達を見て娘が「人もネコも同じ、口にしたり暴力を振るったりすると、一生関係が戻らなくなることがあるんだなあ・・・」そんな意味深なことを言っていたのです。

引き続き「耳」の活用を心がけたいと思います。